

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2022年11月9日

商工中金

地域金融機関と協調し、無菌化包装米飯製造工場を建設する 株式会社相馬屋様に対して総額15億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、シンジケートローンなどの取り組みを通じて、地域金融機関と連携し、中小企業の金融の円滑化を図り、地域経済の発展に貢献しています。

商工中金（福島支店）は、株式会社相馬屋様（本社：福島県いわき市、代表者：佐藤 守利様）に対し、総額15億円のシンジケートローンを組成しました。本シンジケートローンは、商工中金といわき信用組合が共同アレンジャーを務め、相双五城信用組合、東邦銀行が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。

同社は、1923年（大正12年）に創業した米穀類の卸売・小売業者です。同社の精米工場は、2018年6月に精米工場の工場管理基準である精米HACCPを取得しており、安心・安全な穀物を全国に販売しております。

今回、同社は、本シンジケートローンにより調達した資金を活用し、福島県双葉郡檜葉町の檜葉南工業団地内に無菌化包装米飯（パックご飯）製造工場を建設します。本事業は、東京電力福島第一原発事故で避難指示が出た12市町村の米を原材料とすることで、被災した12市町村の営農再開を後押しし、生産・流通・販売が一体となった産地形成に貢献していくものです。

商工中金は、現地訪問や経営者等へのヒアリングを通じた事業性評価を実施し、同社の強みや財務上の課題を共有。本製造工場の新設が、同社の企業価値の向上ならびに地域活性化に繋がるものと考え、地域金融機関と協調して本融資契約を締結しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携しサポートすることで、地域経済活性化に貢献してまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組成金額	15億円 ～コミットメントライン コミット型タームローン	9億円 6億円
共同アレンジャー兼エージェント	商工中金	6億5,000万円
共同アレンジャー	いわき信用組合	5億円
参加金融機関	相双五城信用組合 東邦銀行	2億5,000万円 1億円
契約締結日	2022年11月7日	

【株式会社相馬屋様の概要】

所在地	福島県いわき市小名浜大原字東田33-1	資本金	2,000万円
代表者	佐藤 守利様	従業員数	16名（2022年7月現在）
業種	米穀卸売/小売業	設立	1990年5月